

施策 Ⅲ-1-1	学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実
-------------	-----------------------

目 的

基本的な生活習慣や社会性を身に付けた、感性豊かなたくましい子どもに成長するよう、学校・家庭・地域が連携協力し、一体となった取組みを進めます。

現 状 と 課 題

学校は、学校へ期待される事柄や業務量の増加により子どもや親と丹念に向き合う十分な時間ができにくい状況です。

家庭においては、少子化、核家族化、価値観の多様化、ライフスタイルの変化などから、生活習慣の乱れや規範意識の未熟さが指摘されるなど、教育力の低下が懸念されています。

地域は、かつては濃密な人間関係を背景として日常生活の中で地域の子どもの育む力を有していましたが、今やその力が低下しつつあります。

学校・家庭・地域が、それぞれの役割と責任を十分自覚しながら連携・協力関係を再構築し、社会総がかりで教育力を充実していく必要があります。

取 組 みの 方 向

ふるさとへの愛着と豊かな感性を育むため、自然、歴史、文化、伝統行事、産業など地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ「ふるさと教育」を推進します。

地域の大人たちが学校教育を支援する取組みを公民館活動と連携しながら推進します。

放課後の子どもの居場所づくりを推進し、地域全体で子どもを育む機運を醸成するとともに、家庭と地域との接点づくりを進めます。

社会総がかりで教育力を充実するため、公民館活動に光をあてながら、自治・自立の理念に基づく「地域力」の醸成を進めます。

学校と家庭、地域との連携を密にしながら、食育の推進や、「早起き、バランスのとれた朝食摂取、適度な運動、十分な睡眠」という健康的な生活リズムの確立に取り組めます。

成 果 指 標 と 目 標 値

成果指標	平成 19 年度	平成 23 年度
ふるさと教育を実施している 小中学校の割合	100%	100%
放課後子どもプランに取り組む市町村の割合	62%	100%

地域と連携した取組み状況を示す指標です。地域の大人たちが学校教育を支援する取組みである「ふるさと教育」を実施した公立小中学校の割合です。全小中学校での実施を続けます。

地域全体で子どもを育む取組みを示す指標です。放課後や休日の子どもの過ごし方を検討する場を設置している市町村の割合です。全市町村での取組みを目指します。

目的を達成するための主な事務事業

事業名	概要
ふるさと教育推進事業 〔担当課〕 生涯学習課	ふるさとに愛着と誇りをもつ心豊かな子どもを育むため、「学社連携・融合」(＝地域の大人たちが学校教育を支援)の理念に基づく「ふるさと教育」を県内全ての公立小中学校で実施します。
放課後子どもプラン事業 〔担当課〕 生涯学習課	放課後や休日に、公民館や学校の余裕教室等を活用し、年齢の異なる子どもたちが群れて遊んだり体験・交流する場を確保するため、「放課後子どもプラン」を推進します。
実証!「地域力」醸成プログラム事業 〔担当課〕 生涯学習課	“人づくりの拠点”である公民館が培ってきた「地域力」醸成のノウハウを、モデル公民館を選定して実証し、「地域力」の重要性について世論喚起を進めます。
地域教育コーディネーター派遣事業 〔担当課〕 生涯学習課	県の社会教育主事を「地域教育コーディネーター」として市町村へ派遣し、その専門性を活かしながら「学社連携・融合」の理念に基づく実践活動を幅広く推進します。
食育推進事業 〔担当課〕 保健体育課	食べる知恵を身に付けるため「食の学習ノート」の活用、栄養教諭とのチームティーチングなどに取り組みます。また、学校給食では食品の安全・安心を確保するとともに、関係団体等と連携し地産地消を推進します。
児童生徒の生活習慣改善事業 〔担当課〕 保健体育課	学校においては健康的な生活リズムを確立するため、教育活動全体を通して、実践力を身に付ける指導の充実を図っていきます。また、シンポジウムの開催等により、地域・家庭はもとより広く県民への啓発活動を行います。